

## 5. 図書館司書課程特別講演等一覧

| 年度             | 演 題   | 講 演 者   |
|----------------|---|---|
| 1977<br>(昭和52) | わが国における公共図書館の現状と課題  | 伊藤昭治<br>(前神戸市立東灘図書館長)                           |
| 1978<br>(昭和53) | アメリカ議会図書館および国立国会図書館と MARC System について                     | 小田泰正<br>(京都産業大学教授・<br>元国立国会図書館業務機械化室長)          |
| 1979<br>(昭和54) | 欧米における大学図書館事情   | 倉橋英逸<br>(京都大学附属図書館整理課長)                         |
|                | NDC と私<br>— NDC の経緯を中心に図書館人として<br>50年の回想                  | もりきよし<br>(日本図書館協会分類委員・<br>青葉学園短期大学教授・図書館長)      |
| 1980<br>(昭和55) | 図書館づくりと地域住民へのサービス   | 前川恒雄<br>(滋賀県立図書館長)                              |
| 1981<br>(昭和56) | アメリカにおけるライブラリアンシップについて                                    | 鈴木幸久<br>(ハワイ大学大学院図書館学研究科教授・<br>京都外国語大学教授・図書館長)  |
| 1982<br>(昭和57) | 図書館員を志す人たちのために  | 栗原均<br>(日本図書館協会常務理事・事務局長)                       |
| 1983<br>(昭和58) | マレーシアにおけるライブラリアンシップ                                       | Oli Mohamed<br>(マラ工科大学図書館情報学部・前学部長)             |
|                | わが国における図書館学教育と同志社   | 竹内 愨<br>(図書館情報大学教授)                             |
| 1984<br>(昭和59) | 児童書(絵本)とその出版について  | 松居直<br>(福音館書店社長)                                |
|                | わが国における学校図書館の現状と課題  | 前川泰通<br>(京都府立高等学校図書館協議会理事・副会長)                  |
| 1985<br>(昭和60) | 日米比較ライブラリアンシップ考<br>— 主として米国の大学図書館事情について                   | 松井正人<br>(ハワイ大学アジア図書館長)                          |
| 1986<br>(昭和61) | 湯浅吉郎と京都図書館分類表<br>— 日本最初の十進分類表—                            | 藤田善一<br>(広島文教女子大学教授・図書館長)                       |
| 1987<br>(昭和62) | 革新と情熱の図書館人・小野則秋先生を語る                                      | 中村初雄<br>(慶應義塾大学名誉教授)                            |
|                | 図書館学との出会い   | 小倉親雄<br>(京都大学名誉教授)                              |
|                | 大学図書館の現状と課題   | 岩井昭三<br>(京都大学附属図書館事務部長)                         |
| 1988<br>(昭和63) | [ホームカミングデー]<br>選書に対する行政当局の干渉<br>— 現場での図書館学<br>恩師小野則秋先生を語る | 伊藤昭治<br>(元神戸市立東灘図書館館長)<br>加藤三郎<br>(名古屋市瑞穂図書館館長) |

図書館司書課程特別講演等一覧

| 年度             | 演 題   | 講 演 者  |
|----------------|---|--|
|                | 図書館貸出の歴史の小論<br>NCR1987年版における書誌階層について<br>新しい分類法の原理を求めて<br>—生物の分類と図書の分類の接点<br>図書館学と情報学<br>青木次彦と私<br>—図書館・図書館学との歩み | 埜 上 衛<br>(近畿大学教授)<br>大 城 善 盛<br>(京都外国語大学教授)<br>山 田 泰 嗣<br>(親和女子大学教授)<br>岩 猿 敏 生<br>(関西大学教授)<br>小 倉 親 雄<br>(京都大学名誉教授) |
|                | アメリカにおける図書館・情報学教育の動向  | Robert M. Hayes<br>(UCLA 図書館学部長)   |
|                | 大学図書館における組織および機構について  | 岩 井 昭 三<br>(九州大学文学部講師)   |
| 1989<br>(平成元)  | 新しい公共図書館を求めて<br>—浦安の図書館づくりを通して  | 竹 内 紀 吉<br>(浦安市立中央図書館長)  |
| 1990<br>(平成2)  | [ホームカミングデー]<br>市民とともに図書館をつくる<br><br>戦後の図書館学についての回想<br>—竹林・小野先生の業績にふれながら—  | 森 耕 一<br>(光華女子大学教授)<br>岩 猿 敏 生<br>(前関西大学教授)  |
| 1991<br>(平成3)  | 京都府における図書館行政について  | 太 田 至 郎<br>(京都府立総合資料館長)  |
| 1992<br>(平成4)  | 図書館情報学の展開と構築<br>—二つの大学にかかわって  | 津 田 良 成<br>(慶應義塾大学名誉教授・愛知淑徳大学教授)   |
| 1993<br>(平成5)  | [ホームカミングデー]<br>図書館とのあい<br><br>図書館学史上における小野則秋先生について  | 青 木 次 彦<br>(元同志社大学文学部教授)<br>岩 猿 敏 生<br>(日本図書館学会長)  |
| 1994<br>(平成6)  | 公共図書館における児童サービス<br>—女性図書館長としての回想  | 中 島 智 恵 子<br>(滋賀文教短期大学教授・<br>前長浜市立図書館長)  |
| 1995<br>(平成7)  | 中国の図書館事情：IFLA 世界大会を迎える中国図書館界  | 孫 秉 良<br>(上海図書館副館長)  |
| 1996<br>(平成8)  | アメリカ合衆国における大学図書館：個人的見解  | Michael Gorman<br>(カリフォルニア州立大学総合図書館長)  |
| 1997<br>(平成9)  | 国立国会図書館と私   | 宇 治 郷 毅<br>(国立国会図書館逐次刊行物部長)  |
| 1998<br>(平成10) | 図書館学史の発展の中における慶應義塾と同志社：いままでの図書館学とこれからの図書館・情報学   | 高 山 正 也<br>(慶應義塾大学文学部図書館・情報学科教授)   |
| 1999<br>(平成11) | 児童書の中の子どもたち   | ひ こ・田 中<br>(児童文学作家)  |

| 年度             | 演 題  | 講 演 者   |
|----------------|--|---|
| 2000<br>(平成12) | インターネット時代における知的自由                              | Ann K. Symons<br>(前 ALA 会長 (1998-1999))                       |
|                | 利用者指向の観点から見た情報探索プロセス                           | Carol Kuhlthau<br>(ニュージャージー州立大学教授)                            |
| 2001<br>(平成13) | 情報化時代における府県立図書館の目指すもの                          | 小 山 雄 一<br>(京都府立図書館参与・元館長)                                    |
| 2002<br>(平成14) | 絵本を通して探る言語の魔力と多文化文学                            | Jeanne Whitehouse Peterson<br>(ニューメキシコ大学名誉教授)<br>(児童文学専攻)     |
| 2003<br>(平成15) | アメリカ図書館情報学大学院教育の現状                             | Joan C. Durrance<br>(ミシガン大学情報学部教授)                            |
|                | アメリカにおける学校図書館をめぐる課題                            | Ann K. Symons<br>(元 ALA 会長)                                   |
|                | 同志社大学内における図書館学教育／司書養成教育(同志社ライブラリアンズ・フォーラム03にて) | 渡 辺 信 一<br>(同志社大学教授)  |
| 2004<br>(平成16) | 絵本は声の文化：ブックスタートのもつ意義(創立50周年記念講演として)            | 松 居 直<br>(福音館書店相談役)   |
| 2005<br>(平成17) | 情報の方針転換：図書館情報学教育と研究における国際的な議論                  | Andrew B. Wertheimer<br>(ハワイ大学マノア校アシスタント・)<br>プロフェッサー         |
| 2006<br>(平成18) | 施設・設備から、公共図書館サービスの方針を読む                        | 小 田 光 宏<br>(青山学院女子大学教授)                                       |
| 2007<br>(平成19) | 図書館における情報リテラシー教育                               | Lesley Farmer<br>(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)                       |
|                | 生きた言葉と図書館の課題<br>—粗悪言語を売りつけられる時代に—              | 影 浦 峯<br>(東京大学教育学部准教授)  |
| 2008<br>(平成20) | 韓国の図書館の児童サービスと家族読書                             | 宗 永 淑<br>(ソウル読書教育研究会顧問)                                       |
| 2009<br>(平成21) | 韓国公共図書館におけるデジタルルームあるいはデジタル資料室の活用化の実践           | 文 聖 彬<br>(延世大学校文科大学文献情報学科教授)                                  |
| 2010<br>(平成22) | Google, Kindle, iPad 時代の図書館と著作権制度              | 山 本 順 一<br>(桃山学院大学教授)   |
| 2011<br>(平成23) | 世界基準の図書館情報サービス<br>—アメリカの大学図書館からの視点             | Keiko Yokota-Carter<br>(ワシントン大学東アジア図書館司書・)<br>北米日本研究資料調整協議会会長 |
| 2012<br>(平成24) | 資料保存の考え方と取り組み方                                 | 安 江 明 夫<br>(前国立国会図書館副館長)                                      |

(一覧表作成 原田隆史)